

マギヤレルの マーケットメモ



デイビッド・マギヤレル CFA, CPA

チーフ・インベストメント・オフィサー

2026年5月

過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

図表はあくまで例示目的であり、実際の投資を示すものではありません。

S&P 500指数は、米国大型株市場のパフォーマンスを測定するために使用される500社で構成される非管理型指数です。投資家は指数に直接投資することはできません。S&P中型株400指数は、米国中型株市場のパフォーマンスを測定するために使用される400銘柄で構成される非管理型指数です。S&P小型株600指数は、米国小型株市場のパフォーマンスを測定するために使用される600銘柄で構成される非管理型指数です。MSCI ACWI(米国を除く)指数は、先進国(米国を除く)および新興国における大型株と中型株を網羅しています。インデックスは運用手数料や仲介手数料を徴収せず、表示されているパフォーマンスからもこれらの手数料や費用は差し引かれていません。

Magニフィセント7(Mag 7): AAPL: Apple Inc., MSFT: Microsoft Corporation, NVDA: NVIDIA Corporation, GOOGL: Alphabet Inc., AMZN: Amazon.com, Inc., META: Meta, TSLA: Tesla, Inc.

テクノロジー・プラス(Tech+)は、テクノロジー分野、インタラクティブホームエンターテインメントおよびインタラクティブメディア&サービス業界、Amazon.com Inc., Tesla Inc., Netflix Inc.を統合したものです。

特定の証券への言及は、売買の推奨と解釈されるべきではなく、利益が得られると想定されるべきではありません。

提示された情報は、特定の個人に対する投資推奨または助言を構成するものではありません。本資料は、暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に対して投資戦略に関する結論を導き出すものでもありません。また、いかなるファンドの現在または将来の価値や価格についても意見を述べるものではありません。ファースト・トラストは、いかなる投資家に関する情報も把握しておらず、また提供も受けていません。金融専門家は、特定の投資が顧客にとって適切であるかどうかを判断する必要があります。

本資料は情報提供のみを目的としています。ここに記載されている情報は、いかなる投資活動への勧誘、提案、勧誘、または推奨を構成するものではありません。

本レポートは、ファースト・トラスト・アドバイザーズL.P.によって作成され、著者の現在の見解を反映しています。本レポートは、正確かつ信頼できると考えられる情報源およびデータに基づいています。表明されている意見および将来の見通しに関する記述は、予告なく変更される場合があります。この情報は、いかなる証券の売買の勧誘または申し出を構成するものではありません。

「タダ飯」はいかが？

分散投資が、投資家にとってあまり面白い話題ではないという点については、ほとんど異論がないでしょう。特に、2026年4月に「Magニフィセント7(Mag 7)」やテック関連銘柄(Tech+)主導で株式市場が猛烈な上昇を見せた後では、なおさらそうかもしれません。年初からの3か月間は出遅れていたものの、人工知能(AI)インフラに巨額投資を行う大手企業群に、2026年4月には投資家資金が再び流入しました。グーグルとアマゾンともに25%以上上昇し、NVIDIAもわずか1か月で14%上昇しました。時価総額加重型のS&P 500指数は4月単月で10.5%急騰し、年初来では5.7%上昇しています。

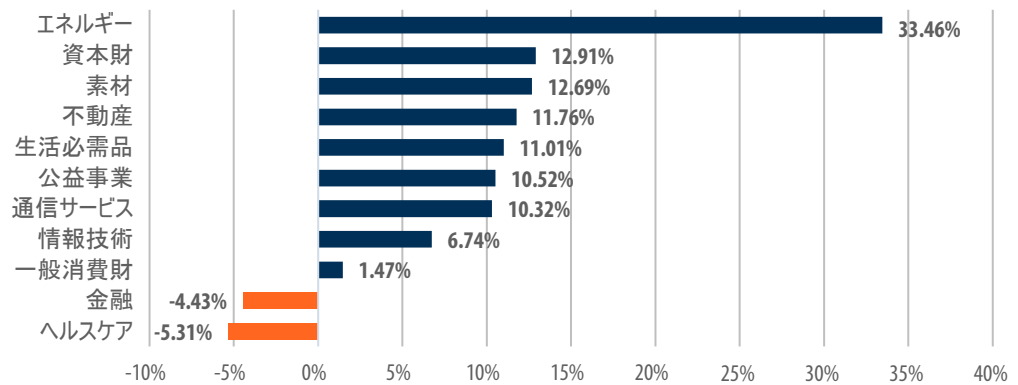
しかし、今年のここまでの市場には大きな違いがあります。過去3年間とは異なり、こうした上昇が市場全体の他の部分を犠牲にして起きているわけではないのです。年初来(YTD)の上昇率上位5セクターは、エネルギー、資本財、素材、不動産、生活必需品です。Mag 7銘柄はいずれもこれらのセクターには属していません[図表1参照]。年初来で見ると、Mag 7はS&P 500指数の構成比で3分の1以上を占めているにもかかわらず、指数リターンへの寄与はおおよそ15%にとどまっています[図表2参照]。これに対し、過去3年間、Mag 7の寄与度はそれぞれS&P 500指数リターンの60%、51%、43%を占め、構成比を大きく上回る影響力を発揮していました。

さらに、小型株(S&P小型株600指数)も2026年4月に10%以上上昇し、中型株(S&P中型株400指数)は約8%、MSCI ACWI(米国を除く)指数も9.7%上昇しました。まさに「何を持っていても上がる」相場だったのです。

また、年初来では、小型株は14.4%、中型株は10.6%、MSCI ACWI(米国を除く)指数は9.1%上昇しており、いずれも大型株指数(S&P 500指数)の5.7%を上回っています。それにもかかわらず、小型株・中型株・海外株のパリュエーションは依然として大型株より大幅に割安です。小型株・中型株・海外株に見られるこうしたパフォーマンスは、弊社が以前から指摘してきた「市場の裾野拡大」という好機が到来し始めている証拠だと考えています。

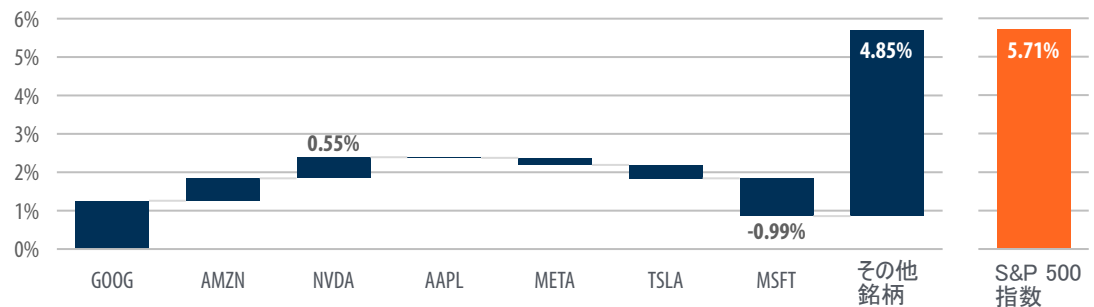
「分散投資は投資における唯一のタダ飯だ」とよく言われます。この言葉の本来の意味は、リターンを高めることよりもリスクを低減することにあります。しかし弊社は、セクター、企業規模、地域をまたいで幅広い株式を保有することは、今年の株式市場において依然として魅力的な戦略だと考えています。

図表1: S&P 500指数 年初来セクター別パフォーマンス



出典: ブルームバーグ。データは2025年12月31日から2026年4月30日までの期間。リターンは株価のみに基づいており、配当金は含まれていません。

図表2: S&P 500指数 年初来寄与度分析



出典: CapitalIQ, S&P, Russell。データ期間: 2025年12月31日 ~ 2026年4月30日。